

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

南大隅町魅力発信交流（地域みらい留学）事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県肝属郡南大隅町

3 地域再生計画の区域

鹿児島県肝属郡南大隅町の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状と課題】

（地理的・自然的特性）

南大隅町は、大隅半島の南部にあり、九州本島最南端の佐多岬を有しています。南東側は大隅海峡、西側は鹿児島湾（錦江湾）に面しており、三方を海に囲まれた半島の先端の町であり、西には薩摩半島の指宿市、南には種子島、屋久島等があります。面積は214平方キロで、鹿児島県全体の2.3%を占めますが、地域内の可住地面積比率は19%となっています。

また、本町には、小学校2校、中学校2校、幼稚園1園と、鹿児島県立南大隅高校があります。

（人口）

本町の総人口は、2019（令和元）年10月1日現在7,119人となっています。最も人口が多かった1950（昭和25）年から比べると当時の28.6%まで人口は落ち込んでおり、高齢化率48.31%で、2060（令和42）年には、人口1,219人と推計されています。

（教育）

本町では、幼稚園から高等学校までが連携して、少人数の特性を生かした、個に応じた学習の充実を図っています。そこでは、地域の自然や人材の積極的な活用を図り、特色ある教育や郷土を愛する心を育てる教育を推進しています。

また、学校と地域の人々との交流体験を通して、豊かな人間性や社会性を育成し、地域の声を活かした教育活動が一層行われるように努めています。

このような中で、大隅南部地域で唯一の高等学校である県立南大隅高等学校の生徒数も4年前に比べると2学級80人定員に対して30人前後の生徒の入学希望者数へと減少しており、今後も生徒数が減少することで、町の活気が失われ人の流が止まってしまうのではと危惧しています。

【目標】

これらの課題に対応するため、南大隅町魅力発信交流（地域みらい留学）に取組み、南大隅町・県立南大隅高等学校の魅力を発信し、町外からの入学希望者の確保に努めるとともに、留学生が本町の自然や文化に触れ、地域が見守る安心な環境の中で自立した生活がおくれるよう、高校と地域が一体となり、互いに力を合わせて、町のイベント等への積極的な参加や、地場産品を活用した商品開発、観光PRへの協力や町内に有する鹿児島県根占自転車競技場で開催される自転車競技大会に参加してもらおう等、在学中だけでなく卒業後も南大隅町と関わりを持ち続けてもらうことで、地域への愛着と誇りを醸成し、移住定住に結び付け本町の人口減少に歯止めをかけます。

【数値目標】

事業の名称	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
南大隅町 魅力発信 交流（地 域みらい 留学）事 業	移住定住者の人数	0	4	基本目標①

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

南大隅町魅力発信交流（地域みらい留学）事業

②（事業の内容）

・地域みらい留学事業

都市部で開催される地域みらい留学フェスタに参画し、南大隅町及び県立南大隅高等学校の魅力発信し、入学希望者を確保する。

本町に受入れた際は、地域が見守る安心な環境の中で自立した生活が送れるよう高校と地域が一体となり、互いに力を合わせる。

卒業後も南大隅町と関わりを持ち続け、地域への愛着と誇りを醸成し移住定住を促進する。

- ・中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」へ参加（東京会場・大阪会場）
- ・地域の魅力ある教育環境や受入体制を広報
- ・地域と高校をつなぐ「コーディネーター」を育成・配置
- ・ふるさと教育・高校生による地域づくり「地域課題解決型学習」の実施
- ・ICT環境の整備（Wi-Fi環境・タブレット）の導入
- ・留学生を地域・学校・行政が連携して、生徒寮で生活環境の支え

なお、本事業は、第2期南大隅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標①「南大隅町への移住・定住を促進するとともに、安心して子育てができる環境を整備する～南大隅町で暮らすプロジェクト」の「(1) 移住・定住希望者への支援」に位置づけられる事業であり、当該基本目標1のKPIである「社会動態増減数△32人（令和6年）」の達成に寄与するものである。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,000 千円（2020 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 2 月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに南大隅町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 3 1 日まで

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 3 1 日まで